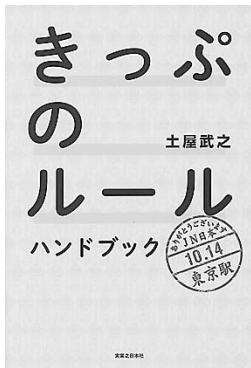


死を悼む動物たち

バーバラ・J・キング 著 (草思社)
死んだ子を離そうとしないイ
ルカ、母親の死を追いかけるよ
うに衰弱し死んだチンパンジー
。大切な者の死を前にして、
深い悲しみを示した動物たちの
事例を数多く紹介する。



きつぷのルールハンドブック

土屋 武之 著 (実業之日本社)
きつぷのルールは、ゲームの
ように楽しくユニーク。初心者
に向けて、きつぷがどのような
仕組みの下で発売され、どのよ
うな規則に基づいて運用されて
いるのかを解説します。旅先の
楽しみと旅のヒントも掲載。



荒神

宮部 みゆき 著 (朝日新聞出版)
時は元禄、東北の山間の仁谷
村が一夜にして壊滅状態となっ
た。隣り合う二藩の因縁、奇異
な風土病を巡る騒動。交錯す
る北の人々は、それぞれの力を
結集し、「災い」に立ち向かう。



おふろでじゃぶじゃぶ

(0~5歳児向け)

フィリス・ゲイシャイトー文 (岩崎書店)
お外で遊んで泥だらけ。お絵
かきをして絵の具だらけ。でも
だいじょうぶ!お母さんが優し
くお風呂に入れてくれます。親
子でふれあう幸せな時間を描い
た絵本。

豊山俳句クラブ

青山克己 選

炎天のこの世の草を刈りし哉 岡島 齋

杉浦みどり

炎昼やただただ街は白くあり

小塚美枝

えのころやあたりにまろき風渡る

石黒貴代子

満天の星満天に大花火

杉本 衿子

もぎたての塩もみ胡瓜青く盛り

村上ゆり子

貴船川太き蚊遣の煙かな

青山克己

いさぎよしここにゐる炎天に立つてる

小さな手鬼灯の赤抱くやうに

坪井昭子

炎天に人間ひとりしろくなる

高木須磨子

大股に来て夕焼けに紛れたり

田村多喜子

入道雲岬の棚田遠ざかる

青山とも子

豆の畑葉風せわしくすぎゆくに

安藤 春一

夕端居ゆっくり風の流れけり

坪井 径子

豊山歌壇

水野笑子 選

山田 米

雪の夜も酷暑の日々も野生児の私の外猫頑健に生く

渡辺トヨ子

暮れなづむ雨呼ぶ風に帰路急ぐ天を仰ぎて歩中広める

中澤 芳子

ローカルの電車に乗り来る学生ら語らふことなくスマホに見入る

村上一枝

幸運は日本チームに届かねど心根現はれし戦ひとなりぬ

林 たよ

鮎買へば太く大きと思ひしが卵はぬきとり食べるところなし

落合さなえ

十数年昔は蛙の声聞きて眠りにつきし安らぎありぬ

編集後記

人生八十年時代といわれ、高齢者は増加する一方、少子化はますます進み、若者の数は減っている。勤労者の減少を補うため、注目されているのは女性、外国人、そして高齢者の力である。今月号の特集では、高齢者の力を社会に活かしていただき、それを生きがいにつなげていただくメニューを紹介した。高齢者の力を活かすためには、何より元気でいていただく必要がある。それは、社会のためだけでなく、その人自身のためでもある。本町の高齢者福祉計画は、住み慣れた地域の中で、心身ともに健康で、生きがいを持ち、安心して生活できる地域社会の実現を目指している。▼十月は第一日曜日に町民体育大会、体育の日には神社の祭礼行事がある。ともに自治会が準備や運営に携わる行事である。こういうときにも、頼りになるのが、高齢者の力である。▼テントの組み方、祭礼の挙措など、自治会には口伝えにより受け継がれてきた事柄も多い。退職した方々にはそれぞれの職業で培ってきた経験・能力もある。その力を、地域社会の発展に、ぜひ活かしていただきたい。